

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月4日

上場取引所 大

上場会社名 ミナトエレクトロニクス株式会社  
 コード番号 6862 URL <http://www.minato.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 板津 弘典

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 須永 牧夫

TEL 045-591-5611

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	1,192	30.7	10	—	△3	—	△8	—
22年3月期第3四半期	912	△29.2	△106	—	△141	—	△154	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	△0.50	—
22年3月期第3四半期	△10.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	2,235	1,027	46.0	62.06
22年3月期	2,495	1,036	41.5	62.61

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 1,027百万円 22年3月期 1,036百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,600	0.4	35	—	10	—	5	—	0.30

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 16,563,152株 22年3月期 16,563,152株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 7,086株 22年3月期 7,086株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 16,556,066株 22年3月期3Q 14,368,955株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第3四半期連結累計期間】	
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成22年4月1日～平成22年12月31日)における当社グループの連結売上高は、計測関連事業の主力であるデバイスプログラマ製品では、主要顧客であります薄型テレビ、デジタル家電・情報通信機器関連企業などの海外工場向け設備投資が拡大して売上が順調に推移いたしましたものの、各種テストシステム、画質検査装置などが主要顧客の設備投資の後倒しのために売上が先送りされた結果、当初計画に対して下回りました。一方、システム関連事業におきましては、タッチパネル製品のうち学校向け電子黒板の需要が一巡したことなどにより、光学式大型タッチパネル製品は前連結会計年度後半の繁忙感からの一服感はあるものの、金融端末向け小型タッチパネルが計画を大幅に上回る販売を続けておりますと同時に、新たに投影型静電容量方式大型タッチパネルの販売が加わり、ほぼ計画通りの売上が計上することができました。これらの結果、当社グループの当第3四半期連結売上高は前年同四半期と比べ30.7%増収の1,192百万円となりました。

営業損益につきましては、前連結会計年度より役員報酬、並びに人件費の削減を始め、固定費を中心に具体的な経費削減策を実施してはおりますが、現在の経済状況を踏まえ当第3四半期より人件費を元の水準に戻し従業員の士気を高めることにより、その効果から当社グループの第3四半期の営業損益は、前年同四半期の営業損失106百万円から大幅に改善し、10百万円の営業利益となりました。経常損益につきましても、前年同四半期の経常損失141百万円から3百万円の経常損失となり、また当第3四半期純損益も、前年同四半期の四半期純損失154百万円から8百万円の四半期純損失となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて15.0%減少し、1,249百万円となりました。これは、現金及び預金が28百万円、製品が12百万円それぞれ増加いたしました。受取手形及び売掛金が253百万円、原材料及び貯蔵品が16百万円それぞれ減少したことなどによるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.9%減少し、985百万円となりました。これは、投資その他の資産が21百万円、有形固定資産が18百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて10.4%減少し、2,235百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて15.4%減少し、1,032百万円となりました。これは、短期借入金47百万円増加いたしました。支払手形及び買掛金が125百万円、1年内返済予定の長期借入金が85百万円、1年内償還予定の社債が31百万円それぞれ減少したことなどによるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べて26.2%減少し、176百万円となりました。これは、長期借入金が27百万円、社債が18百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて17.2%減少し、1,208百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.9%減少し、1,027百万円となりました。これは、当第3四半期連結累計期間の四半期純損失が8百万円であったことなどによるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の連結業績につきましては、本日平成23年2月4日公表の「平成23年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 1. 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。なお、棚卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切り下げを行う方法によっております。

#### 2. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### 3. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、および一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測にその変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 1. 会計基準等の改正に伴う変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

#### 2. 表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	285,956	257,900
受取手形及び売掛金	502,593	756,539
製品	121,014	108,747
仕掛品	210,399	209,320
原材料及び貯蔵品	113,104	129,313
その他	17,271	9,234
貸倒引当金	△345	△1,324
流動資産合計	1,249,994	1,469,730
固定資産		
有形固定資産		
土地	720,450	720,450
その他	1,856,059	1,848,124
減価償却累計額	△1,650,976	△1,625,026
有形固定資産合計	925,533	943,548
無形固定資産		
投資その他の資産	3,506	3,921
その他	103,491	126,460
貸倒引当金	△46,648	△48,000
投資その他の資産合計	56,842	78,460
固定資産合計	985,882	1,025,930
資産合計	2,235,877	2,495,660
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	222,193	348,015
短期借入金	649,880	602,840
1年内返済予定の長期借入金	66,005	151,978
1年内償還予定の社債	36,600	68,250
未払法人税等	6,464	9,121
製品保証引当金	2,000	4,000
その他	49,201	36,519
流動負債合計	1,032,345	1,220,724
固定負債		
社債	—	18,250
長期借入金	—	27,704
退職給付引当金	30,786	45,241
役員退職慰労引当金	17,015	17,322
再評価に係る繰延税金負債	125,206	125,206
その他	3,008	4,648
固定負債合計	176,017	238,373
負債合計	1,208,362	1,459,097

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,335,692	1,335,692
資本剰余金	91,261	91,261
利益剰余金	△373,487	△365,242
自己株式	△812	△812
株主資本合計	1,052,653	1,060,898
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,075	1,878
土地再評価差額金	△26,214	△26,214
評価・換算差額等合計	△25,138	△24,335
純資産合計	1,027,514	1,036,562
負債純資産合計	2,235,877	2,495,660

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	912,829	1,192,881
売上原価	693,378	816,146
売上総利益	219,450	376,734
販売費及び一般管理費	326,213	366,139
営業利益又は営業損失(△)	△106,762	10,595
営業外収益		
受取配当金	524	551
受取賃貸料	4,164	1,545
原材料売却益	2,194	3,601
助成金収入	4,268	—
その他	2,429	377
営業外収益合計	13,581	6,076
営業外費用		
支払利息	16,855	19,334
株式交付費	29,488	—
その他	1,961	1,145
営業外費用合計	48,305	20,479
経常損失(△)	△141,486	△3,807
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	2,330
特別利益合計	—	2,330
特別損失		
投資有価証券売却損	—	1,592
固定資産売却損	4,612	—
役員退職功労金	4,108	—
特別損失合計	8,720	1,592
税金等調整前四半期純損失(△)	△150,206	△3,069
法人税、住民税及び事業税	4,463	5,175
法人税等合計	4,463	5,175
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△8,245
四半期純損失(△)	△154,669	△8,245



(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)  
該当事項はありません。